

きつい きついと言われる摩耶山 黒岩尾根を登る 2020.11.9.

摩耶山上 掬星台からの大展望のデジカメ Video 添付



高取山から眺める摩耶山は東六甲の山並に立ちはだかる堂々とした山容の大きな山
山の正面左側から「く」の字に右へ回り込む尾根筋が黒岩尾根

高さ702m 摩耶山。正面右の山頂から左へ「く」の字に回り込む尾根筋が黒岩尾根。



街の街路樹も鮮やかに色付づいた11月9日の午後、布引の滝道の紅葉を期待して布引谷を市原へ歩く。

紅葉はまだこれから谷筋にふと思いついて、布引谷の一番奥トゥエンティクロスから六甲森林植物園に出て帰ることに予定を変更。市原から布引の谷の奥へ歩き始めたのですが、トゥエンティクロスの入口で先の道が崩壊して通れぬとの警告書と道遮断の柵。うかつにも状況よく知らず、時間的にも遅れたこともあって、布引谷の奥へ行くのをあきらめ、登田ことはないのですが、興味津々で、西の布引谷 東の地獄谷に挟まれた摩耶山黒岩尾根 摩耶山黒岩尾根は市原の奥トゥエンティクロス(布引谷)と地獄谷に挟まれた急登の登山道。昔は長い悪路の道として有名だったと後で聞きましたが、道はしっかり整備されているので、不安なし。

でもスマホの電波は届かず、途中案内標識もなく逃げ道のない一本道。思いつきの午後のハイキングにはちょっと厳しいなあと。

でも、視界の開けぬ樹林に包まれた明るい尾根筋道にきついなあといいながらも心地よく、尾根道の上で突然視界が開け、西六甲の山々面連なる向こうに明石海峡・淡路島が広がるうれしい西神戸の大展望。堂々と山体を広げる摩耶山の知らなかった新しい一面を知った感じがしています。





神戸の街からケーブル・ロープウェイや六甲ドライブウェイを通じて気軽に登れ、また、よく整備された登山道も数多くあり、毎日登山を楽しむ人も多い。

神戸の街の中央から眺める摩耶山はケーブルで登れる気楽で楽しめる山と。子どもの頃から親しんだ山です。でも海岸から一機に700mほどを登るので侮ると厳しい。

山深い大きな山などとは想像すらしていませんでしたが、今回正面の黒岩尾根を登って、新しい一面を発見。高取山など西六甲から眺める摩耶山の山容の大きさにも、改めて摩耶山の大きさに触れることができました。いつもの風来坊 思い付きの山歩きの自戒半分楽しさ半分。摩耶山の大きさやよく知らなかった摩耶山の黒岩尾根の記録をスライド動画と写真アルバムにしました。これも コロナ禍の中での風来坊 神戸の街歩きです。



昼飯を済ませて新神戸駅から滝道を歩き出す。布引谷の紅葉はまだこれから・・・・・・・・

「布引谷トウエンティクロスから森林植物園の道は真っ赤かも?」と期待半分。これが思いがけず、歩いたことのない摩耶山黒岩尾根を登って摩耶山へゆくことに。市原から奥は紅葉も進んで心地よいハイキング。

左に布引谷トウエンティクロス右に地獄谷 その間の狭い尾根筋を登るのが黒岩尾根。この分岐からトウエンティクロス入口にくと登山道が進入禁止に。ここまで途中で警告はあったのですが、巻き道があると思っていたのですが、午後遅く崖崩れ箇所では迷えば日が暮れる恐れがあるので、ここでストップ。

登ったことのない摩耶山黒岩尾根を登ることに興味津々。黒岩尾根を登って摩耶山へ行くことに。通常はもう少し手前の六甲全山縦走路 天狗道を登るのですが・・・、摩耶山はどこも急登のぼり道。入口からよく整備された階段道が続く。

この黒岩尾根は長くできつい道、昔は悪路で有名だったようですが、今はよく整備されていました。また、トウエンティクロス入口の進入禁止も多くの人が歩いて崖崩れ場所を通過するふみ跡がついていて、通過すると後で聞きました。なんせ午後からのwalk 私には未知の登山道が歩いてラッキー。遅出のwalk 日没との時間競争になりましたが、いろいろ知らなかった摩耶山の顔が見られていいwalkに

摩耶山黒岩尾根を登る Photo Album 2020.11.9.



【1.布引谷滝道から布引ダムを経て市原へ】



布引谷滝道の紅葉はまだこれから。

ダム堰堤からダム湖を経て市原に向かう道では 真っ赤に色づいた樹木も見られ、紅葉が進んでいる

【2.市原から布引谷の奥 西に布引谷・東に地獄谷・その間を摩耶山へ延びる黒岩尾根 それぞれの分岐道入口周辺】



布引川が流れ下る布引谷奥への登山道。山腹は真っ赤なパッチワークに ほどなく黒岩尾根への登り口

【3.布引谷トゥエンティクロスと摩耶山黒岩尾根登り口の分岐点で】

トゥエンティクロスの道 山崩れによる崩落による危険警告と登山道進入ストップ柵



トゥエンティクロスの道 山崩れによる崩落による危険警告と登山道進入ストップ柵 安全のため布引谷奥へ入るのをストップ
予定を変更して 摩耶山黒岩尾根を登って、摩耶山上へ行くことに

【4. 興味津々 初めてのコース 摩耶山黒岩尾根を登って、摩耶山上へ】



最初から急登が続くきつ長いコース かつては悪路で有名だったというよく整備した明るい尾根筋

【5. 摩耶山黒岩尾根の中間606mピーク北で視界が開けた 素晴らしい西六甲の山々の眺め】



西側鈴蘭台方面の遠望 須磨海岸から遠く東播磨の田園地帯も見えている
 2020.11.9. 黒岩尾根 606mピーク北で

南西側須磨海岸から東播磨の海岸線が遠く遠望され、須磨海岸から摩耶山への六甲全山
 縦走路西六甲の山並が見えている
 こんなアングルで 西六甲の山並を眺めるのは初めて 2020.11.9. 黒岩尾根北部で

【6. 夕暮れ近く606mピーク北からまた樹林の中を辿ると摩耶山山上掬星台】



【7. 夕闇迫る摩耶山山上掬星台からの 大阪湾大展望】



【8. 摩耶ロープウェイ・ケーブルから眺める神戸の街】



高さ702mの摩耶山 ケーブルが登る街の中央から眺める摩耶山は気楽で楽しめる山と子どもの頃から親しんだ山
山深い山などと想像すらしなかったが、正面右の山頂から左へ「く」の字に回り込む尾根筋 黒岩尾根を今回登って、
新しい一面を感じることができました。古くからの信仰の山だったことも理解。
よく知らなかった摩耶山黒岩尾根をひょんなことで登り、改めて摩耶山の大きさにも触れることができました。
摩耶山黒岩尾根 気に入った登山道が一つ加わりました。 でも気を付けないと。



きつい きついと言われる摩耶山黒岩尾根を登る 2020.11.9.

- ◎ 常々西六甲から見る摩耶山の堂々とした姿と山深さ それを実感。
切り立った布引谷と地獄谷に挟まれた狭い急な尾根筋。
山頂まで逃げ道が一つもありませんでした。
- ◎ 樹木に包まれた急登の尾根筋ですが、視界の開けた上部からは
淡路島・播磨の海を背に摩耶山から明石海峡へと
立ち並ぶ西六甲全山縦走路の山々が美しい。
いつも見る姿とはちょうど逆。秋の夕暮れ近く絶好の印象的。
- ◎ 明るい樹林に包まれた山深いお尾根筋 時間も遅かったせいもありますが、
だれにも出会わず独り占め。多少きついですが、やっぱり登りがおすすめ。
上り詰めた摩耶山上掬星台からの大阪湾の大パノラマを
ゆっくり楽しめるのも魅力

帰り道 真っ暗になった神戸の街を歩きながら

2020.11.9.夕刻 by Mutsu Nakanishi



参考 きつい きついと言われる摩耶山 黒岩尾根を登る 2020.11.9. スライド動画格納サイト

■ スライド動画埋め込み掲載サイト

<https://www.infokkna.com/ironroad/2020htm/walk17/R0212kuroiwa00.htm>

■ 摩耶山掬星台からの大阪湾・神戸の街の大展望 & ロープウェイからの展望

<https://www.infokkna.com/ironroad/2020htm/walk17/kikuseidaiVideo.mp4>